

今年度(2017年度)の主なトピックス・出来事

ハンディキャプだより

《多くの市民の皆様・小中学校の生徒さんへハンディキャブ活動を紹介》

相模原市民桜まつりのパレードに参加

小中学校 5校で開かれたみんないひと体験講座に参加

感謝の手紙 1年 0さん

車いすの人でも、ハンディキャブ号のおかげでとおくまでいけて、車いすの人たちにとってのヒーローなんだなと思いました。

そして今日、そのヒーローに会えて、しかもお仕事の方法までおしえてもらえて、ほんとうによかったです。お仕事がんばってください。

田名地区地域ケア会議で、ハンディキャブ活動を紹介

《各地区で運行ボランティアへの参加を呼びかけ》

ボランティア養成講座のパネルディスカッションに参加

傾聴活動入門講座でハンディキャブ活動を紹介

南地区のボランティアセミナーでハンディキャブ活動を紹介

南地区で移送ボランティア養成講座を開催

新たに運転者3名加入



《仲間の交流、その他の主な活動》

南地区でハンディキャブ関係者交流会を開催

日本財団へ福祉車両導入の助成申請

ぼらんていあ通信の六ページ目に掲載していただいた「ハンディキャブだより」を、来年度(二〇一八年四月)より不定期刊行とすることになりました。但し、今後も継続して運行ボランティア(運転者・介助者)の皆さんとハンディキャブ委員会・事務局委員会との間で、より一層緊密でタイムリーな情報伝達・意見交流を目指す所存です。

引き続きご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

(ハンディキャブ委員会)

「ハンディキャプだより」が不定期刊行になります

「みんないひと体験講座」のテキスト

この度「みんないひと体験講座」(当市の小中学校で行われている福祉体験学習)のハンディキャブ号紹介の授業で用いるテキストを、小川進ハンディキャブ委員が作りました。講師として参加される皆さん、是非ご利用ください。

お知らせ

坂道の登り方と下り方



車に乗車する。【注意事項】

スロープ幅が70cm位車椅子幅が63cm位、ベルトの力は約100kg位で引く無理な操作をすと壊れます。



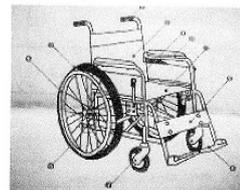
乗車姿勢

【注意点】

右上の写真で分かるように天井との隙

ハンディキャブ号での実習要領ガイド HC委員会監修

- 学習目的
受講生が、肢体不自由者の理解を深める為にどの様に取り組み今後生きていく為に必要な人との接し方や他者への 共感・協調性を高める為の方法としてハンディキャブ号を利用して肢体不自由者に対する理解と、大切さを高めてほしい。
- 移動範囲
旧相模原市をメインにあじさい会館を中心として直線30Km迄の範囲で活動をしています。
- 移動車の種類
大きく分けて自家用車の移動車と、協会が所持している車です。
- 協会が所持している車
テーブルリフター式・ウインチベルト式・チルトシート式の肢体不自由者を移動させるタイプがあります。今回使用するのはウインチベルト式の車です。このタイプは、ベルトを使って車椅子を車内の移動させるタイプ(南区使用車は協会所持のテーブルリフター式+チルトシート式車です。)
- 車椅子介助の基本動作方法
正しい知識を持たなければ難しいものではありません。



車椅子を押す時に配慮すること

- ハンドルグリップをしっかり握り両手に均等に力をかけてまっすぐ押しましょう。
- 前後左右の段差、突起物に十分注意
- 車椅子では振動が果っている方に強く伝わるので、整地されていない所では特に静かに押しましょう。
- たたえ、信号を待つ間の停止でも、ブレーキは必ずかける習慣をつけましょう。

車椅子

ハンディキャプだより発行方式の履歴

- 2003年～ 不定期刊行 / “主にB5片面”
- 2005年5月～ 月刊 / “B5両面”
- 2014年5月～ ぼらんていあ通信(月刊)の6ページ目 / “A4”片面